

■私立大学図書館協会東地区部会研究部研修分科会 講演

2009年7月10日(金)

第2回「大学図書館サービスの新たな展開」(講演とワークショップ)

主催:私立大学図書館協会東地区部会研究部／運営:NPO法人 大学図書館支援機構(IAAL)／会場:埼玉大学東京ステーションカレッジ(JRサビアタワー 9階)

講演:13:10-14:30(70分+質疑10分)

次世代図書館員のための自己アピール講座 ー存在感訴求力をどう身に着けるかー

仁上幸治(帝京大学総合教育センター 准教授／元早稲田大学図書館)

<目次>

- 【1】広報活動とは何か
- 【2】『図書館利用教育ガイドライン』
- 【3】図書館員のイメージ
- 【4】テレビドラマの中のステレオタイプ
- 【5】「専門性」論議の落とし穴ー3点セット論
- 【6】新しい図書館員像の創造
- 【7】職業のイメージ形成の場
- 【8】図書館の組織風土
- 【9】広報戦略の必要性
- 【10】5つの特効薬
- 【11】専門性の研鑽
- 【12】結論: 専門性を訴求するには

- 資料1: 広報論の復習
- 資料2: 講演内容まとめ
- 資料3: 参考文献・参考サイト
- 資料4: 出版物・講演会案内
- 資料5: 講師紹介

□■□

■資料1： 広報論の復習

【1】『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開を目指してー』私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編集発行／日本図書館協会発売／2002年8月31日刊行／2381円(税別)

【2】「広報＝戦略」説

- 1) 図書館員の病気 10
- 2) 図書館組織の病気 10
- 3) 4段階発展モデル
- 4) 広報 20 大手段
- 5) 基本戦術 42

【3】図書館員の10大症候群

- (1) 「懐古感傷」症、または「雅（みやび）破壊反対」説
- (2) 「応答中毒」症、または「対話の喪失防止」説
- (3) 「大衆嫌悪」症、または「過保護無用」説
- (4) 「協働拒否」症、または「我不関知」説
- (5) 「怠惰居直」症、または「呼び込み＝仕事増御免」説
- (6) 「不毛謙虚」症、または「自力勉強唯一」説
- (7) 「体得過信」症、または「マニュアル過信禁物」説
- (8) 「無策安住」症、または「そこまでやらなくても」説
- (9) 「自信過剰」症、または「オレがやらなきゃ誰がやる」説
- (10) 「外注拒否」症、または「自前手作り満足」説

【4】図書館組織の病気

- (1) 本務優先主義
- (2) 前例主義
- (3) 場当たり主義
- (4) 減点主義
- (5) 部門至上主義（セクショナリズム）
- (6) 完全主義
- (7) クソマジメ主義
- (8) 事なかれ主義
- (9) 居座り主義
- (10) 体面主義

【5】広報 20 大手段（1982）

（広報支援手段）

1. 広報ノート
2. 質問メモ
3. スタッフマニュアル
4. 事務工程分析図
5. 企画書
6. 館内報
7. 打合せ会
8. 広報委員会
9. 年次計画書
10. 年次報告書
11. 中長期計画書
12. 図書館委員会

（広報手段）

13. オリエンテーション
14. 投書箱
15. 本の葉
16. 利用案内
17. PR紙
18. ポスター
19. ビデオ
20. サイン計画

【6】基本戦術 42

・考え方 10 + 基本戦術 42（『図書館広報実践ハンドブック』参照）

【7】外部委託の本当の効果

「雇用を守れ」説

「定型業務をみんなでシェア」説

非定型業務への余力投入

専門性の訴求による地位向上

* 「図書館運営、紀伊国屋書店に委託ー江戸川大、開業時間も延長」日本経済新聞、2004. 6. 24、39面

■資料2： 講演内容まとめ

【1】広報活動

- 1) ALA(アメリカ図書館協会)
- 2) JLA(日本図書館協会)
- 3) 広報活動、出版、図書館支援活動、リーダーシップ、図書館学課程の認定、等。

「広報」とは何か

- 1) 「広報＝お知らせ」説
一方通行の情報伝達
- 2) 「広報＝PR」説
理解・共感・参加・協力

何を広報するのか

- 1) 「ありのままのサービス」説
- 2) 「良いイメージ」説

【2】『利用教育ガイドライン』

大学図書館版、1998
目標と方法一覧表
（『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』2003、
p.7-8.)

5つの領域

- 1) 印象づけ
- 2) サービス案内
- 3) 情報探索法指導
- 4) 情報整理法指導
- 5) 情報表現法指導

印象づけ

- ・快適
- ・便利
- ・気軽
- ・自由
- ・信頼性
- ・専門的サービス

印象づけの効果

- ・図書館へ行こう
- ・図書館サービスを使おう
- ・図書館員に相談しよう
- ・図書館員に教えてもらおう

イメージを伝える方法

- 1) 「広報活動」
利用案内、掲示、ホームページ
- 2) 施設、設備、蔵書、サイン
- 3) 図書館員
>> 総合力

【3】図書館員のイメージ

古い図書館員像
専門職？
社会的イメージ

【4】テレビドラマの中のステレオタイプ

古臭い図書館員像
テレビ・映画の中の図書館員
繰り返されるステレオタイプ
本好き > 人嫌い
逃避的、趣味的、保守的
地味な職業の典型

図書館員のキャラクター設定

いかにも図書館員
図書館員なのに
図書館員の社会的イメージ
ホントに専門職なの？

イメージの誤解

「表面的なもの」説
「実質のほうが大切」説
「仕事はいつか評価される」説

イメージの正しい理解

「イメージ = 評価」説

PR(Public Relations)

IR(Investor Relations)

CC(Corporate Communications)

CRM(Customer Relations Management)

【5】「専門性」論議の落とし穴ー3点セット論

- 1) 書誌知識
- 2) 主題知識
- 3) 語学力

「専門性」の要件追加

- 4) 指導力(指導サービス実施能力)
- 5) 企画力
- 6) 組織力
- 7) 政治力

【6】新しい図書館員像の創造

- 1) テレビドラマの中のステレオタイプの呪縛
- 2) ニュータイプの模索
- 3) ビデオ『図書館の達人』による新しい司書像の訴求

『ガイドライン』が描く新しい図書館員像

- 1) プランナー
- 2) コーディネータ
- 3) プロデューサー
- 4) インストラクター

【7】図書館員のイメージ形成の場

- 1) 広報手段の立案・実施者
- 2) レファレンス応対者
- 3) オリエン・講習会の運営・指導者
- 4) ホームページ上の指導サービス企画者

【8】図書館の組織風土

図書館の組織風土

- 1) 保守的保身的な上司
- 2) 意欲とスキルのない同僚
- 3) どうしていいのかわからない私

【9】広報戦略の必要性

- 企業
- 自治体
- 大学
- 図書館
- その他
- 存在感の訴求
- 対社会
- 対組織内

図書館が魅力的でない8つの理由

- 1) オリエンテーションが地味
- 2) 講習会がありきたり
- 3) 広報紙が平凡
- 4) 利用案内が旧態依然
- 5) 新着図書案内が書誌データの羅列
- 6) 図書館員の古いイメージどおり
- 7) 研修を活かせない組織風土
- 8) 研修成果を応用しない姿勢

【10】5つの特効薬

- 1) オリエンテーションと講習会を変える
- 2) 帳票に指導内容を埋め込む
- 3) ホームページ上に配付資料とスライドを公開する
- 4) 探索法指導内容をパスファインダー形式に作り変える
- 5) 教科書を作る(一般・専門・研究)

すぐにはできない課題(1):方法

- 1) オンラインチュートリアル
- 2) eラーニング化

すぐにはできない課題(2):講習会

- 1) 専門分野ごとの情報探索法
- 2) 専門分野ごとの研究調査法
- 3) リサーチフロントの研究者との協働

パスファインダーを作る

- 情報の調べ方ガイド
- 目的・分野・レベルに合わせて

適時に適量

【11】専門性の研鑽

専門性の発揮場面
 事務文書(企画書、報告書等)の作成
 広報媒体の企画と制作
 教材の作成
 情報活用支援サービス
 研修・研究会
 レファレンスメーリングリスト

専門性の研鑽

職場のカルチャーを変える
 研究会・研修会を変える
 司書課程を変える(実践化・専門化)
 >> 上級司書、専門職大学院
 研修を考え直す

フォローアップの7つの方法 p.154

- 1)メーリングリストによるニュースレター
- 2)上司のサポート
- 3)6カ月後の再会
- 4)専門家が実施しているところを観察する
- 5)講師による一対一のフィードバック
- 6)研修の場で実行計画を作る
- 7)参加者相互のピア・コーチング

■資料3： 参考文献一覧

●図書館利用教育ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.

●情報検索関係の教科書

- ・情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』日外アソシエーツ, 1997
- ・高鉄裕樹『デジタル情報資源の検索 増訂版』京都大学図書館情報学研究会, 2007.4
- ・原田智子 他『情報検索演習』3訂、樹村房, 2006. (新・図書館学シリーズ, 6)
- ・緑川信之『情報検索演習』新訂、東京書籍, 2004.
- ・三輪真木子『情報検索のスキル—未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003.9 (中公新書 1714)
- ・毛利和弘『文献調査法—調査・レポート・論文必携』第2版、日本図書館協会発売 2006.

●情報リテラシー教育

- ・慶應義塾大学日吉メディアセンター 編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会, 2002, ¥1,200(本体)
- ・学習技術研究会編著『知へのステップ：大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版, 2002.4 (CD-ROM 付)
- ・北尾謙治[他]『広げる知の世界—大学でのまなびのレッスン』ひつじ書房, 2005.5、¥1,600
- ・伊藤民雄・実践女子大学図書館編『インターネットで文献探索 2007 年度版』日本図書館協会, 2007.

●論文作成

【12】結論：専門性を訴求するには

イメージとは社会的評価である
 自己イメージと社会的評価には落差がある
 イメージの訴求機会は様々な図書館サービスの中にある
 いわゆる「広報活動」では不足
 大学図書館は広報戦略をもつべき
 広報戦略の中心課題は専門性の訴求
 新しい専門性は情報リテラシー教育支援と指導サービスにある
 イメージ変革が緊急に必要

問題提起のまとめ

- 問題提起1:パブリック・リレーションズの視点を確立しよう！
 問題提起2:生き残るための戦略と作戦を立てよう！
 問題提起3:専門性崩壊をくい止めよう！
 問題提起4:研修を講義型からワークショップ型へ変えよう！
 問題提起5:研修にフォローアップを！

広報戦略の目標

- 利用者を変えよう！
 経営者・管理者を変えよう！
 図書館員を変えよう！
 >> 自分自身を変えよう！

以上□■□

- ・中尾浩・伊藤直哉『Windows95 版人文系論文作法』夏目書房, 1998, ¥2857.
- ・山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』平凡社, 2001.9
- ・澁谷恵宜『卒論応援団 : はじめての「卒業論文」ラクラク基本マニュアル』クラブハウス, 2000.7
- ・戸田山和久『論文の教室—レポートから卒論まで—』NHK出版, 2002.11, (NHK ブックス 954) ¥1,120
- ・小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社, 2002.4(講談社現代新書, 1603)
- ・野口悠紀雄『「超」文章法—伝えたいことをどう書くか』中央公論社, 2002.10(中公新書, 1662)

●プレゼンテーション 1

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーボックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐつとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995(ブルーボックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3(ブルーボックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10(ブルーボックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS ブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーボックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

●情報探索論

- ・岡澤和世『情報行動研究のコンテクスト』『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.16, p27-52 (2002)
- ・岡澤和世『情報ニーズの評価の必要性と問題点 :D.Nicholas の論文を中心に』『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.12,p43-65(1998)
- ・北原俊一, 安達一寿『自習型Web教材および簡易学習支援システムの開発』, 『社会情報論叢(十文字学園女子大学研究紀要)』, Vol.7 2003, p1-10.
- ・河野浩之 [ほか]著『情報検索とエージェント: インターネットの知的情報技術』東京電機大学出版局, 2002.3
- ・中村幸雄『情報検索理論の基礎—批判と再検討』改訂増補版, 共立出版, 1998
- ・福永智子『講演 図書館利用教育研究における学習心理学的観点: クールソを中心に』『館灯』41, 2003, p.1-6.
- ・渡辺智山『情報探索過程を踏まえた検索システムの開発へ向けて—レファレンス・ブックを利用した探索過程の調査—』『情報の科学と技術』52(3), 107-115 (2002)
- ・D.A. ノーマン, 野島久雄訳『誰のためのデザイン? —認知科学者のデザイン原論—』新曜社, 3300 円
- ・R.S. ワーマン『それは「情報」ではない。』MdN,2001.
- ・R.S. ワーマン『理解の秘密—マジカル・インストラクション』NTT出版,1993.
- ・R.S. ワーマン『情報選択の時代』日本実業出版社,1990./『東京アクセス』伊藤忠ファッションシステム,1984.

●調べ方

- ・井上真琴『図書館に訊け!』筑摩書店,2004.(ちくま新書) ¥777
- ・大串夏身『チャート式情報アクセスガイド』青弓社,2006. ¥1600.-
- ・田中共子『図書館へ行こう』岩波書店,2003.(岩波ジュニア新書) ¥777
- ・時実象一『理系のためのインターネット検索術: ホンモノ情報を素早くみつつける』講談社, 2005.2(ブルーボックス) ¥840
- ・時実象一, 小野寺夏生, 都築泉『情報検索の知識と技術—情報検索応用能力試験 2 級対応テキスト』情報科学技術協会. 2007.5, ¥2500.
- ・藤田節子『キーワード検索がわかる』筑摩書房 2007.10(ちくま新書) ¥756.

●パスファインダー

- ・愛知淑徳大学図書館インターネット情報資源担当編『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践 : 図書館員のための主題検索ツール作成ガイド』愛知淑徳大学図書館, 発売: 紀伊国屋書店, 2005.2
- ・石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会『パスファインダーを作ろう: 情報を探す道しるべ』全国学校図書館協議会, 2005 (学校図書館入門シリーズ 12) 840 円
- ・鹿島みづき, 山口純代『図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性』『情報の科学と技術』 52(10), 526-537 (2002)
- ・鹿島みづき, 山口純代『図書館パスファインダー—次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術』『館灯』42, 2003, p35-46.
- ・河上純子, 仲尾正司, 仁上幸治 他『パスファインダーバンクの実用化に向けて—Web 版共同利用ナビゲーションシステム開発計画案』(私立大学図書館協会東地区部会 館長会・研究講演会, 研究分科会報告大会記録 2001 年度『私立大学図書館協会会報』(通号 118) [2002.11])
- ・仲尾正司, 中村亜日香, 山田かおり, 他『パスファインダーバンク実用化とその経緯—Web 版共同利用ツールシステムを立ち上げて』『私立大学図書館協会会報』122, 2004.8, p147-151.
- ・仁上幸治『電子パスファインダをどう作るか—情報探索支援ツールの企画から公開まで—』『短期大学図書館研究』25, 2005.3, p.59-70.
- ・村田輝 他『教育情報案内パスファインダーによるレファレンスサービスの Web への展開—東京学芸大学附属図書館におけ

る教育情報ポータルサイト「E-TOPIA」(国際学術コミュニケーション特集)『大学図書館研究』(67) [2003.3] p.37-49.

・伊藤白, 小澤弘太「国内における Web 上パスファインダーの現況調査」『情報の科学と技術』58(7), p. 361-366 (2008)

●講習会

・梅原由紀子「都立中央図書館の利用教育サービス--OPAC 検索講習会と図書館活用講座を実施して」(特集 図書館のホームページ) みんなの図書館. (通号 299) [2002.3] 56~65

・菅谷明子『未来をつくる図書館 ―ニューヨークからの報告―』岩波書店, 2003. (新赤版 837)

・米澤 誠 ; 阪脇 孝子 ; 高橋 菜穂子「情報探索マニュアルの作成と職員向け講習会の実施: 東北大学附属図書館での事例報告」大学図書館研究. (69) [2003.12] 34~41

●指導法

・岡本浩一『上達の法則―効率のよい努力を科学する』PHP 研究所, 2002.5 (PHP 新書) ¥714

・多和田悟『犬と話をつけるには―駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)

・中野民夫『ワークショップ―新しい学びと創造の場―』岩波書店, 2003.04 (岩波新書)

・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿―あの失敗から何を学ぶか』小学館, 2006.4, ¥1300

・吉田新一郎『効果 10 倍の<教える>技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所, 2006 (PHP新書)

●『情報の達人』の歴史

・仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へ―利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.

・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像―『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.

・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.

・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8, 1993.8, pp.553-556.

・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3

・『情報の達人』ホームページ: <http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

■資料 4. 参考サイト一覧

【1】情報探索 3 大ポータルサイト

1) 野口悠紀雄オンライン: <http://www.noguchi.co.jp/>

2) アリアドネ: <http://ariadne.ne.jp/>

3) 実践女子大学図書館リンク集: <http://www.jissen.ac.jp/library/>

【2】Google 関連サイト

1) 実験室: Google のプロトタイプ: <http://labs.google.com/>

2) soople: Google 専用コマンド不要の検索フォーム: <http://www.soople.com/>
換算電卓機能: http://www.soople.com/soople_intcalchome.php

3) Google Hacks: Google メニュー検索: <http://dicwizard.jp/jamming/search.php>

4) GAPS: Google API Proximity Search: 近接検索

<http://www.staggernation.com/cgi-bin/gaps.cgi>

5) Google 関連メーリングリスト

・ Google Friends: <http://www.google.com/contact/newsletter.html>

・ googlefun: <http://www.freeml.com/ctrl/html/JoinForm/googlefun@freeml.com>

【3】検索サイトの最新情報

1) SEM リサーチ: 検索エンジンの最新情報ポータルサイト

<http://www.sem-research.jp/sem/>

2) Search Engine Showdown: 検索エンジンの最新ニュースと比較データ

<http://searchengineshowdown.com>

3) 検索エンジンの検索: 世界中の検索エンジンを探る検索エンジン

<http://www.searchenginecolossus.com/>

4) shikencho.com 検索の鉄人 関裕司氏の「検索テクニック」

<http://www.shikencho.com/iron/irontext.php>

【4】Google 以外の主要な検索サイト

1) AlltheWeb: <http://www.alltheweb.com/>

ノルウェーの Fast 社開発

2) AltaVista: <http://www.altavista.com/>

1995 年 12 月登場のロボット型検索エンジンの老舗。1999 年から画像検索の老舗。

3) AAA!Cafe: <http://aaacafe.ne.jp>

部分文字列検索が可能な「N グラム」方式

【5】パスファインダー (一例)

・私立大学図書館協会企画広報研究分科会パスファインダーバンク <http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/>

・国立国会図書館「公共図書館パスファインダーリンク集」: <http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/pathfinderlinks.html>

・Dublin Core Metadata Initiative (DCMI): <http://dublincore.org/>

- ・統計データポータルサイト <http://portal.stat.go.jp/>
- ・情報科学技術協会：<http://www.infosta.or.jp/>
- ・電子政府の総合窓口：<http://www.e-gov.go.jp/>
- (大学図書館)
- ・E-TOPIA(東京学芸大学附属図書館)教育系電子情報ナビゲーションシステム：
<http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index.p.html>
- ・愛知淑徳大学図書館パスファインダー：
http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource_j/pf_j.html
- ・千葉大学「授業資料ナビゲータ」
<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>
- ・三重大学三重大学附属図書館 パスファインダー一覧
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/pathfinder/index.html>
- ・名古屋大学附属図書館「情報への道しるべ (パスファインダー)」
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/>
- (公共図書館)
- ・茨城県立図書館「茨城県の企業情報」
<http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/chousa/ibaraki.htm#02>
- ・埼玉県立図書館「埼玉県内の企業に関する資料」
https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/saitama/other/kaisya.html
- ・広島県立図書館「広島県内の企業」
<http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/hplib/businessshirabekata/2kigyou/kigyoujyouhou.htm#kennnai>
- ・愛媛県立図書館「企業情報を探すには・・・(愛媛県内)」
<http://www.pref.ehime.jp/160kyouiku/190tosyokan/00000841020725/business/guide/ehimekigyoo.htm>
- ・宮崎県立図書館「調べる 宮崎県内企業情報」
http://www3.lib.pref.miyazaki.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&WIT_oid=icityv2::Contents::1812
- ・鳥取県立図書館「企業情報入手するには」
http://www.library.pref.tottori.jp/business/m_kigyoo_2007.html
- ・島根県立図書館「企業情報を調べるための資料」
<http://www.pref.shimane.lg.jp/toshokan/reference/business/kigyoo.html>
- ・千葉県立中央図書館 千葉県資料室「千葉県 夏の高校野球」展示のお知らせ
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/central/tenji20080718.html>
- ・千葉県立中央図書館 東部図書館「展示 情熱の国ブラジル」のお知らせ
<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/information/east/tenji0807.html>
- ・岐阜県図書館「しらべかた案内」：<http://www.library.pref.gifu.jp/sirabekata/top.htm>
- 【6】教材サイト**
- ・TOSS インターネットランド：<http://www.tos-land.net/index2.php>
- ・世界の指導案：<http://jcultra.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/LPIW/>
- ・教育情報ナショナルセンター：<http://www.nicer.go.jp/>
- ・EDUREF：<http://www.eduref.org/>
- ・Library Explorer：<http://explorer.lib.uiowa.edu/>
- ・Internet Public Library：<http://www.ipl.org/>
- University of Michigan School of Information. >> Pathfinders
- ・WARP (Web Archiving Project)：NDL インターネット資源選択的蓄積実験事業：<http://warp.ndl.go.jp/>
- 【7】講習会教材公開の先進事例**
- ・愛知淑徳大学図書館：<http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/>
- ・京都大学図書館<全学共通科目「情報探索入門」>：<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/homejm.html>
- ・九州大学図書館<情報リテラシー学習支援>：<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html>
- ・東京大学図書館<ネットでアカデミック on Web>：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>
- ・東京工業大学図書館<講習会案内>：<http://www.libra.titech.ac.jp/>
- ・東京学芸大学図書館<講習会情報>：<http://library.u-gakugei.ac.jp/>
- ・京都精華大学情報館<マルチメディア講演会>：<http://www.kyoto-seika.ac.jp/johokan/>
- ・東北大学図書館<情報探索の基礎知識>：<http://www.library.tohoku.ac.jp/>
- ・日本女子大学図書館<利用案内>[eラーニング]：<http://www.lib.jwu.ac.jp/>
- ・明治大学図書館<図書館活用法>：<http://www.lib.meiji.ac.jp/>
- 【8】教育用データベース提供**
- ・データベース振興センター『情報の検索と活用』第2版, 2005. 3.：<http://www.dpc.or.jp/>
授業・講習会用ソフトの複数貸与等のサービスあり。
- 【9】画像ネタの宝庫**
- ・American Library Association (ALA)：<http://www.ala.org/>
- 【10】使えるフリーソフト**
- ・Google パック StarSuite:ワープロ、スプレッドシート、プレゼンテーション、その他：<http://www.google.com/>
- ・OpenOffice：プレゼンテーションソフト「Impress」を含む統合オフィスソフト Sun Microsystems Inc.：
<http://www.openoffice.org/>
- ・PrimoPDF 日本語版：PDF 形式変換ソフト：<http://www.xlsoft.com/jp/products/primopdf/index.html>

- ・データ便：ファイル無料転送サービス：<http://www.datadeliver.net/>
- ・アンケート君：アンケート集計ソフト：<http://www.vector.co.jp/soft/win95/business/se159548.html>
- ・富士通アクセシビリティ・アシスタンス：ウェブ診断ソフト：<http://jp.fujitsu.com/about/design/ud/assistance/>

【11】プレゼンテーションソフトを使い方を学ぶ（製造者ホームページ上のオンライン説明）

Microsoft Office Online：<http://office.microsoft.com/ja-jp/FX100647101041.aspx>

2007 Office system の初級トレーニング:PowerPoint 2007 を活用する

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC100687671041>

Office 2003 の初級トレーニング:PowerPoint の各機能の使い方

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC010413011041>

Office 2003 の中級トレーニング:PowerPoint: 洗練されたフローチャートの作成

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC010198841041>

Office 2003 の上級トレーニング:PowerPoint: マスタを使用して効率的にデザインする

<http://office.microsoft.com/training/training.aspx?AssetID=RC011536491041>

【12】プレゼンテーションソフトを使い方を学ぶ（一般サイト）

Presentation.jp(プレゼンテーション総合サイト)：<http://www.presentation.jp/index.html>

資料作成：http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap_ppt.html

【13】注目の研究所

デジタルメディア研究所：<http://www.demeken.net/weblog/>

橋川幸夫：http://www.demeken.net/weblog/2005/09/post_10.html

■資料5： 講師紹介（最近の活動から）

仁上幸治（にかみ・こうじ）：帝京大学総合教育センター准教授／前早稲田大学図書館司書／非常勤講師（東京家政大学・桜美林大学・亜細亜大学司書講習）

◎ホームページ：<http://www.dcms.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/> ◎電子メール：nikamikoji@yahoo.co.jp

◎図書館サービス計画研究所(略称「トサケン」)代表：<http://tosaken.blogspot.com/> ★ML 会員募集中！

◎論文・記事（単著）（2000- ）

- ・「コンビニに負けない生涯学習支援サービスを！－市民の情報リテラシーと社会教育－」『月刊社会教育』2000.10, pp.22-27.
- ・「図書館マーケティングとブランニング・プロセス論－経営革新をめざす『実行可能な方法』の開発と導入－」『専門図書館』no.192, 2001.3, pp.8-18.
- ・「軽いノリと少しの勇氣－利用者満足度調査は自信と希望の証－」『図書館雑誌』2002.11, pp.872-875.
- ・「情報リテラシー教育と新しい図書館員像－『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52. (同誌ホームページ掲載)
- ・「司書課程の社会的評価の向上を目指す切り札－情報検索演習における「受講生による授業評価」の集計結果報告－」『法政大学教職資格課程年報』(法政大学キャリアデザイン学部紀要別冊)vol.1, 2003年度, 2004.3.30, pp.66-76.
- ・「これは危機ではない？－困った利用者よりずっと困った問題群－」『図書館雑誌』98(11)[2004.11], pp.838-841.
- ・「総本山の進まない構造改革－専門職崩壊のデフレスパイラル－」『大学の図書館』24(2), 2005.2. (特集大学図書館と日本図書館協会) pp.28-31.
- ・「オリエンはエンタメだ！－素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを－」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・「大学図書館員のためのオリエンテーション技法－印象づけを重視した構成・演出の改善の試み－」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集:情報リテラシー・サービス) pp.15-24.
- ・「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略－司書職の専門性をどう訴求するか－」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, (特集:図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?) pp.310-317.
- ・「電子パスファインダをどう作るか－情報探索支援ツールの企画から公開まで－」『短期大学図書館研究』25, 2006.3, pp.59-70.
- ・「『図書館の達人』から『情報の達人』へ－利用者教育映像教材の進化 15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル－専門性を訴求する5つのポイント－」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・「せめて大江戸一家の心意気でトサケン司書職の「奇跡のV字回復」を目指す－<聞き手:鈴木正紀>」『大学の図書館』410, 27(1), 2008.1, pp.4-8.
- ・「デジタルリソースのフル活用へ向けて－講習会の刷新とオンデマンド教材の開発－」『館灯』46, 2008.3, pp.22-38. (私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会講演記録, 2007.12.04, 名古屋ガーデンパレス)
- ・「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて－研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み－」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. 全文：http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f_index08.html
- ・「情報ハンドリングの秘伝書－図書館員を変えるイメージトレーニングのために－」『情報管理』51(11), 2009.2, 850-853.
- ・「もっと明るく楽しいメディアリテラシー教育を」『学図研ニュース』No.277, 2009.3, pp.11-15.
- ・「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編1)－レイアウト改善の5つのポイント－」『館灯』47, 2009.3, pp.46-54.
- ・「なぜ研修の成果が出ないのか－現場で活かすための7つの秘訣－」『館灯』47, 2009.3, pp.124-129.
- ・「グッズが図書館を元気にする！－暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器－」『大学の図書館』28(5), 426, 2009.5, pp.70-75(聞き手:鈴木正紀)

◎単行書(共著)

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編『図書館広報実践ハンドブッケー広報戦略の全面展開を目指してー』日本図書館協会発売, 2002.9
- ・戸田光昭[他]共著『改訂専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻)
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』日本図書館協会, 2005.6(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, 8)[シリーズ第2期8, 2008.1.31]

◎教材ツール開発(企画・監修)

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会: 共同制作ポスター・葉・掲示用紙・ブックカバー, 1984-
- ・日本図書館協会: 「コニーちゃん」ポスター・葉・掲示用紙, 1998-99.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会: 「りてらしい」グッズ(T シャツ, トレーナ, キャップ, バッグ, エプロン, ブックカバー)2002-
- ・ライブラリービデオシリーズ『図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1992.10, 1993.7.
- ・ライブラリービデオシリーズ『新図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1998.3, 2002.11.
- ・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』DVD版全3巻, 紀伊国屋書店, 2007.2.28. (ビデオ・スライド・テキスト)

◎最近の講演・発表等(2004-)

2004

- ・2004.2.20-日本図書館協会フライデーナイトセミナー第1回「図書館員のための指導サービス実践講座【パート2】ープレゼンテーションの実演と討論ー」日本図書館協会
- ・2004.7.10-鶴見大学 T.U.L.A.(Tsurumi University Librarians Association) 研修会 講演「図書館員のための利用指導サービスのポイントープレゼンテーションの実演と討論ー」鶴見大学図書館AVホール
- ・2004.7.30-東北地区図書館協議会合同研修会「大学図書館における利用者教育と利用促進」基調講演「利用指導サービスと広報戦略ー専門性を訴求する取り組みのポイントー」岩手大学情報メディアセンター図書館
- ・2004.8.26-27-私立短期大学図書館協議会全国研修会: 講義と演習「指導サービスの組織化と指導プログラム・教材の作成」北海道武蔵女子短期大学
- ・2004.9.8-群馬県大学図書館協議会 大学図書館研究会: 講演「パスファインダー超簡単作成法ー日常業務の中で作るための7つのステップー」放送大学群馬学習センター
- ・2004.11.24-埼玉高校図書館研究会司書部会研究集会: 講演「情報メディアの活用をどう支援するかー学校図書館司書による指導サービスのポイントー」さいたま文学館(桶川市)

2005

- ・2005.1.20/1.28-NII 学術情報リテラシー教育担当者研修: 講演「学術情報リテラシー教育における広報戦略」大阪大学/国立情報学研究所
- ・2005.5.27-日本図書館協会フライデーナイトセミナー第5回: 講演「情報検索指導における良い例題・悪い例題ー素材を集め問題を作り要点を説明する方法ー」日本図書館協会
- ・2005.10.10-はんのう学校図書館まつり特別講義「図書館で情報の世界への窓を開けるーポスターからパスファインダーまでー」駿河台大学
- ・2005.11.1/11.17-学術情報リテラシー教育担当者研修「学術情報リテラシー教育における広報戦略」国立情報学研究所/大阪大学
- ・2005.11.15-医学図書館研究会・継続教育コース「新しいオリエンテーション技法ー利用者をひきつける構成と演出」東京歯科大学
- ・2005.11.17-近畿地区医図協・薬図協・病図協共催シンポジウム「利用者教育におけるプレゼンテーションの実際」大阪大学
- ・2005.12.7-文部科学省東海北陸地区図書館地区別研修「情報活用支援サービスの最新技法」福井県立図書館

2006

- ・2006.03.18-日本図書館協会図書館利用教育委員会図書館利用教育実践セミナー「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)ー素材を集め問題を作り要点を説明する方法ー」キャンパスプラザ京都
- ・2006.10.14-紀伊国屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館広報革命ー第一印象はオリエンテーションで決まるー」紀伊国屋書店本社会議室
- ・2006.11.16-兵庫県大学図書館協議会「図書館広報を再設計するー専門職として生き残るための5つの特効薬ー」兵庫県立大学
- ・2006.11.22-図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)ー専門分野別データベースの特徴を紹介する方法ー」(日本図書館協会主催)パシフィック横浜

2007

- ・2007.03.31-[発表] 日本図書館情報学会春季研究集会「図書館利用者プロフィールの再検討ー情報探索支援システム設計のための概念モデルー」大阪市立大学梅田サテライト
- ・2007.06.01- 専門図書館協議会全国研究集会「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」科学未来館
- ・2007.07.10-私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会図書館広報実践講座パート1「パスファインダーをつくる!」国立情報学研究所
- ・2007.08.24-私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会研究会「情報リテラシー教材が図書館を変えるー『情報の達人』が切り拓いたものー」熊本学園大学
- ・2007.09.21-岐阜県図書館・岐阜大学図書館講習会「パスファインダを作る(入門編)」岐阜県図書館

- ・2007.10.18-専門図書館協議会関西地区協議会イブニングセミナー「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」大阪商工会議所
- ・2007.11.08-図書館総合展フォーラム講演会「図書館グッズが利用者と館員を変える！ーイメージ戦略の先進事例ー」(埼玉福祉会主催), パシフィコ横浜: 10:30~12:00 第3会場
- ・2007.11.08-図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(応用編)ーデータベースの特徴をどう紹介するかー」(日本図書館協会主催), パシフィコ横浜 15:30-17:00 第5会場
- ・2007.11.21-大学図書館近畿イニシアティブ中級研修「大学図書館における広報戦略と情報発信ーホームページ、広報誌、利用案内・・・あなたの図書館は大丈夫ですか?ー」大阪市立大学学術情報総合センター
- ・2007.12.04-私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会「デジタルリソースのフル活用へ向けてー講習会の刷新とオンデマンド教材の開発ー」名古屋ガーデンパレス

2008

- ・2008.02.06-千葉県立中央図書館平成19年度レファレンス研修会(レファレンスサービス専門研修)「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」千葉県総合教育センター
- ・2008.03.01-三島市立図書館平成19年度図書館講座「目からウロコの《超簡単》情報活用講座ー人に伝える・人と繋がる・人と学ぶー」三島市立図書館
- ・2008.03.16-日本図書館協会 図書館利用教育実践セミナー(第11回)「利用者はなぜ論文検索ができないのかー躓かせないための4つの指導ポイントー」キャンパスプラザ京都
- ・2008.5-7[講義と演習]TRC ライブラリー・アカデミー(2008年度:隔週火曜日開講、全6回) TRC
- ・2008.08.19-三重県司書・司書教諭研修講座「魅せる教育力養成講座ー情報専門職に必須のプレゼン技を磨くー」三重県立美術館/三重県総合教育センター
- ・2008.08.20-長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会研修会「少人数館だからできる指導サービスー創意工夫で効果を上げる7つのコツー」清泉女学院大学(長野県長野市)
- ・2008.09.04-私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会図書館実務担当者研修会「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編1)ーレイアウト改善の5つのポイントー」レイクサイド入鹿(愛知県犬山市)
- ・2008.09.05-同 全体講義 2「なぜ研修の成果が出ないのかー現場で活かすための7つの秘訣ー」
- ・2008.09.20-学校図書館問題研究会・岡山支部例会「作ることで学べるメディアの便利さと楽しさー目からウロコの「超」実践的演習授業ー」岡山市勤労者福祉センター
- ・2008.09.21-岡山県大学図書館員研修会「ワンランク上の情報リテラシー教育へ!ーオリエンテーションと講習会を改善する7つのコツー」岡山県総合グラウンドクラブ 第二研修室
- ・2008.10.24-大阪府図書館司書セミナー「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」大阪府立中央図書館
- ・2008.10.30-地方議会図書室等職員セミナー「あなたの図書館はなぜ魅力的でないのかー利用促進と存在感訴求のための広報戦略ー」都道府県会館
- ・2008.11.01-紀伊国屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館講習会必勝法ー学習効果と満足度が50%アップする5つの極意ー」紀伊国屋書店本社会議室
- ・2008.11.18-埼玉県図書館協会郷土資料研修会「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」さいたま市立北図書館
- ・2008.12.21-国立教育政策研究所 FD 実践研修「図書館利用教育の普及をめざす広報戦略ー協力者・推進者を増やすための実践的教訓ー」愛媛大学(愛媛県松山市)

2009

- ・2009.01.17-神奈川県高教組川崎支部教育研究集会「明るいメディアリテラシーの育て方ー授業の素材と演出の5つのポイントー」向の岡工業高校(神奈川県川崎市)
- ・2009.01.22-国際子ども図書館説明聴取会「人と人を繋ぐプロの技を磨くー図書館グッズからパスファインダーまでー」国際子ども図書館(東京都台東区・上野)
- ・2009.03.13-鳥取県学校図書館司書研修「図書館員のためのプレゼン実習ー情報専門職の提案力・指導力を磨くー」鳥取県教育センター(鳥取市)
- ・2009.03.14-[コーディネーター]日本図書館協会 図書館利用教育実践セミナー(第13回)in 京都「図書館員のメディア活用力を問うーアニメ世代にどう教えるかー」キャンパスプラザ京都(京都市)

★講演予定(一部未定)

- 2009.07.10-私大協研修分科会-広報
- 2009.07.24-私短協研修会 いわき
- 2009.08.07-栃木市立図書館レファレンス研修
- 2009.08.08-アスペクトコア社ガイダンス勉強会-京都
- 2009.09.10-北海道図書館大会-広報
- 2009.09.11-トサケン札幌支部-パスファインダー
- 2009.09.12-トサケン旭川支部-図書館グッズ
- 2009.10.xx-鹿児島県大学図書館協議会
- 2009.11.10-図書館総合展フォーラム-図書館サービス計画研究所主催シンポジウム(申請中)
- 2009.11.20-広島県大学図書館協議会研修会
- 2009.xx.xx-企画広報研究分科会30周年記念シンポジウム

★著作と講演のリストや関連資料はホームページ参照(一部は全文リンクあり)。

以上(配付資料/2009.7.8作成) ■□■